

ある つくる がたる

千葉県立美術館報
VOL. 18 NO. 1

(通巻66号)

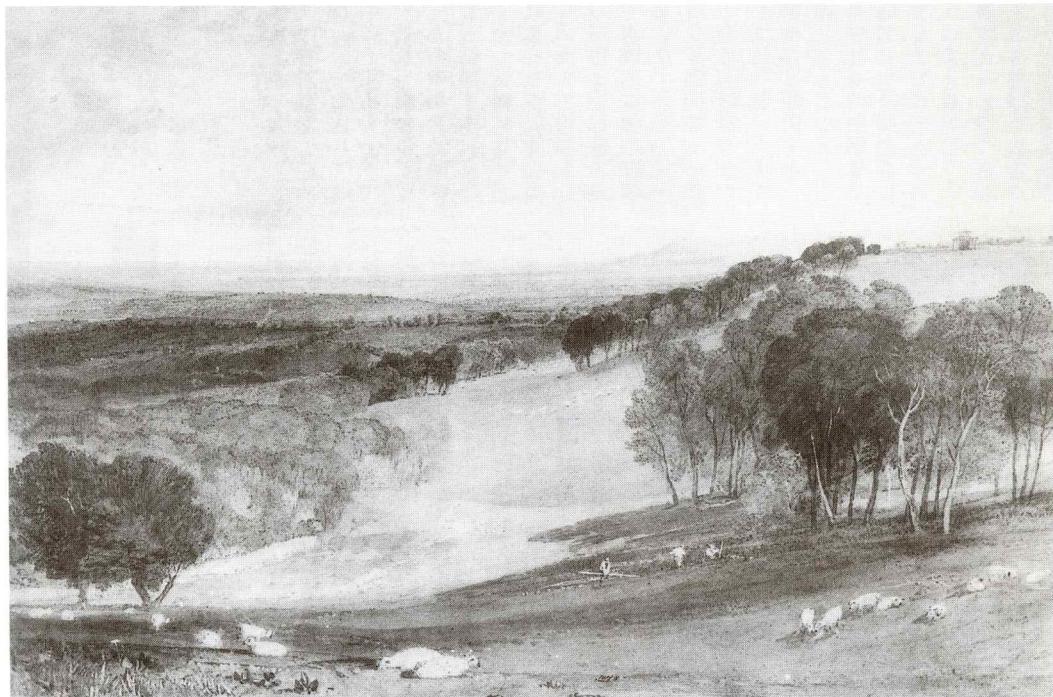
平成3年6月1日発行

編集・発行人 福田 誠

〒260

千葉市中央港1丁目10番1号

☎0472-42-8311 (代表)



J・M・ウィリアム・ターナー「ローズヒル」 1810年

(特別展「英國水彩画展」出品 フィッツウィリアム美術館蔵)

た。十八世紀末から十九世紀初頭にかけての英國風景画は、やがてバルビゾン派や印象派の画家達の出現を促し、文明開化の波にゆれる明治時代の日本にもたらされ、当時の画壇に大きな感銘を与えました。
(大久保 守)

この作品は、一八一〇年、ウィリアム・ターナーによつて描かれたイングランド南部サセックス州の風景です。ターナーは幻想的な風景画の傑作を多く残しましたが、彼は、はじめこのような水彩画の制作に励んだようです。水彩は空や大地、水などの質感を出しやすく、湿潤な英國の風土に合った技法として多くの画家に好まれました。広々とした丘に羊たちがのんびりと草を食んでいる、そんな風景がどこまでもはてなく続いています。自然の豊かさ、美しさを画面いっぱいに描く水彩の風景画は、近代市民社会がいち早く確立した英國に始まつたといつてもよいでしょう。あらゆる束縛から開放され、自由な個人として自己の周囲に目を向けた時、素晴らしい自然の美がそこにあつたのです。

ウイリアム・ターナーによつて描かれたイングランド南部サセックス州の風景です。ターナーは幻想的な風景画の傑作を多く残しましたが、彼は、はじめこのような水彩画の制作に励んだようです。水彩は空や大地、水などの質感を出しやすく、湿潤な英國の風土に合った技法として多くの画家に好まれました。広々とした丘に羊たちがのんびりと草を食んでいる、そんな風景がどこまでもはてなく続いています。自然の豊かさ、美しさを画面いっぱいに描く水彩の風景画は、近代市民社会がいち早く確立した英國に始まつたといつてもよいでしょう。あらゆる束縛から開放され、自由な個人として自己の周囲に目を向けた時、素晴らしい自然の美がそこにあつたのです。

み
る

県民の日
記念事業

特別展
英國水彩画展

, 91・6・15(土)～7・21(日)

に進展します。

水彩画の歴史は古く、世界中で様々に利用されてきましたが、私たちが小・中学校で習った透明感ある色彩豊かな

水彩画は、十八世紀～十九世紀にかけてイギリスで培われたものです。

◆英國水彩画の流れ

イギリスでは十七世紀後半頃から十八世紀にかけて、裕福な市民階級の子弟の学問の総仕上としてヨーロッパ大陸への旅行がブームとなり、旅行先での出来事や風物などの記録には、携帯が楽で取り扱いの便利な水彩画が利用されるようになりました。またイギリス各地の大邸宅の紹介や、郷土の歴史書の出版なども活発となり、挿絵に版画が使用され、その下絵としても水彩画が利用されるようになります。

英國水彩画は、イタリアから影響を受けさらに飛躍的

イタリア人の画家カナレット(一六九七～一七六八)は、

一七四六年にイギリスを訪れるロンドンの景観や田舎の家屋を描き、光の効果を大胆に捉えつつも、細部まで正確に描写する、十七世紀オランダ絵画の流れをくむ写実的な表現によって、いまだ練描をもとに適度に着色する程度であつた英國の水彩画に強い影響を及ぼしました。

存在を意識し、広々とした空間を表現するようになります。

英國水彩画はカズンズにより、一つの独立した絵画表現として確立されます。このため今回の特別展では主にカズンズ以降の作品を取り上げています。

侧面をも含めることによって、單なる記録の手段から絵画表現へと高まつた英國水彩画は、

二人の天才 T・ガーティン

と J・M・W・ターナーに

より高度な写実的表現が試みられる一方で、修業のためヨーロッパ大陸へ赴いたイギリスの画家たちは帰国すると、

二十七歳の若さで夭折した T・ガーティン(一七七五～一八〇二)は、はじめ写実的傾向の作品を制作していまし

たが、カズンズの作品を模写する

カズンズが獲得した写実に

もとづく情感的な表現を、ガ

ーティンはさらに推し進め、

より高度に完成させたとい

るでしょう。

本展覧会では彼の最高傑作といわれる「サン＝ドニの門と街並み」を含め、十点を展示します。

J・M・W・ターナー(一

七五～一八五)も、ガ

ーティンと同じく自然から直接

学ぶ態度をとりました。しか

し、彼は自然を前にした時

自分の印象を、その形態をとおしてではなく、そこに漂う

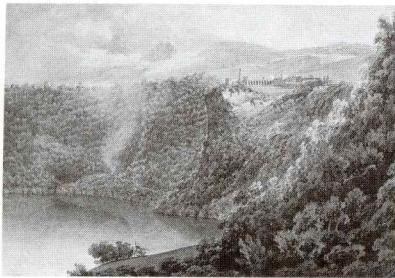
大気の効果によって表現する

ことに情熱を注ぎました。時

代を経るに連れてその傾向は

顕著となり、次第に形態が朦朧となつていきますが、同時

に搖らめくような彼独自の空



J.R. カズンズ「ネミ湖と町」



ガーティン「サン＝ドニの門と街並み」

する頃から自らの主觀によつて自然を捉えるようになります。また水彩絵具の透明性を生かした重ね塗りの技法を意識的に取り入れ、直接明るい固有色を塗つて制作し、実景に忠実であります。さらにその場の印象までも捉えた詩情豊かな作品を残しました。

カズンズが獲得した写実に

もとづく情感的な表現を、ガ

ーティンはさらに推し進め、

より高度に完成させたとい

るでしょう。

本展覧会では彼の最高傑作といわれる「サン＝ドニの門と街並み」を含め、十点を展示します。

J・M・W・ターナー(一

七五～一八五)も、ガ

ーティンと同じく自然から直接

学ぶ態度をとりました。しか

し、彼は自然を前にした時

館長あいさつ



四月から竹内一雄前館長のあとをうけ、第七代館長に就任しました福田誠です。前任者に寄せられました以上の御指導、御協力をお願ひいたし

と受講者の真剣な取組みとで、すばらしい成果をあげることができました。

人生八〇年時代、生涯学習時代といわれる今日、これまでの蓄積の上に美術館のあるべき姿を考える時期でもあると考えます。

佐倉市の川村記念美術館が予想をはるかに上回る入館者を迎えていた様子、今後、県下各地に開館が予想される公立美術館とのかかわり、又、大型の私立美術館設置計画など変動が予想されます。

美術品が投機の対象となる『英國の水彩画に関する図書』『英國の水彩画』齊藤泰三著『巨匠の絵画技法』ターナーW・ハーディ著『世界の巨匠シリーズ』ターナーJ・ウォーカー解説『新潮美術文庫17 ターナー』

『世界美術の旅3 ロンドン物語・上』世界文化社『世界美術の旅4 ロンドン物語・下』世界文化社

『日本の水彩画に関する図書』『ワーグマンとその周辺』重富昭夫著『我が水彩』石井柏亭著『水彩画家』大下藤次郎著居次義著

『大下藤次郎紀行文集』近藤信行編

『日本水彩画名作全集』全8巻。掲載作家は浅井忠、石井柏亭、岸田劉生、中西利

約二三万人、開館以来最高の入館者を迎えることができました。

『かたる・つくる』皆様の御支援をお願いいたし

ます。

情報資料室だより

特別展「英國水彩画展」

関係図書の御案内

情報資料室では特別展「英國水彩画展」関係図書として

次の資料を御覧頂けます。どうぞ御利用下さい。

●英國の水彩画に関する図書

『英國の水彩画』齊藤泰三著

『巨匠の絵画技法』ターナーW・ハーディ著

『世界の巨匠シリーズ』ターナーJ・ウォーカー解説

●水彩画の技法に関する図書

『水彩画の基礎』森桂一、戸田健夫共著

『水彩画の描き方』丸山晩霞著

『アトリエ美術技法百科5 水彩・ペスティル・スケッチ』アトリエ出版社

●水彩画に関する図録

『水彩画の基礎』森桂一、戸

田健夫共著

『アトリエ美術技法百科5 水彩・ペスティル・スケッチ』アトリエ出版社

雄、丸山晩霞等。

『現代の水彩画』全5巻。掲

載作家は荒谷直之介、紫田祐作、三橋兄弟等。

『日本の水彩画』1、2、7、

12、14、18、20巻)掲載作

家は大下藤次郎、小山周次、

小堀進、石川欽一郎、三宅

克己等。

ぜひ多くの方々に御参加い

ただき、英國水彩画の歴史的

意義や魅力、あるいは、現在

の日本の水彩画に見られる多

様な表現方法と美についてよ

り一層の興味と理解を深める

機会としていただければと思

います。

ここに、すでに決定している特別展「英國水彩画展」の開催期間中における2つの講演会を御案内します。

本年度は、各展覧会に併せ

て美術講演会を5回実施する予定です。

❖美術講演会❖

本年度は、各展覧会に併せて美術講演会を5回実施する予定です。

ここに、すでに決定している特別展「英國水彩画展」の開催期間中における2つの講

演会を御案内します。

第1回 6月22日(土)2時 演題

「英國水彩画の魅力
—描かれた田園詩—」

講師 戸田健夫氏(千葉大学

友部直氏(共立女子大学

学教授)

第2回 7月6日(土)2時 演題

「水彩画の美と表現
—描かれた田園詩—」

講師 戸田健夫氏(千葉大学

教授・水彩連盟会員)

※いずれも会場は本館講堂で
参加者数は200人を対象と
しています。聴講料は無料で
先着順です。

みる・かたる・つくる

美術館実技講座(6月以降)

○洋画講座1

期日	6月18・25・26・27・29・22
講師	熊谷文利氏
定員	20人
締切	6月4日
(10日間)	

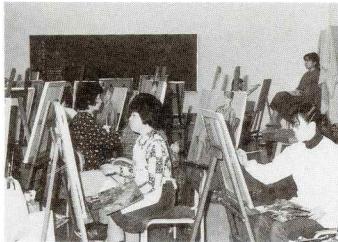
○陶芸講座

期日	7月3・4・5・6
講師	明石昇氏
定員	30人
締切	6月19日
(9日間)	

○洋画講座2

期日	7月10・11・12
講師	松沢茂雄氏
定員	30人
締切	6月26日
(10日間)	

洋画講座



○彫刻講座(木彫)

期日	8月2・3・4・6
講師	渋谷三朗氏
定員	15人
締切	7月19日
(12日間)	

○書芸講座

期日	12月4・5・6
講師	中村象闌氏
定員	25人
締切	11月20日
(3日間)	

○洋画講座3(水彩)

期日	1月22・23・24・29
講師	戸田健夫氏
定員	30人
締切	1月8日
(10日間)	

○金工講座

期日	1月28・29・30・31
講師	戸田健夫氏
定員	30人
締切	1月8日
(12日間)	

ごあんない・実技講座

○洋画入門講座2
○陶芸講座(6月以降)



書芸講座

○彫刻講座(木彫)
○洋画入門講座3
○書芸講座

期日	7月2・3・4・5
講師	根岸茂行氏
定員	30人
締切	6月18日
(6日間)	

○デッサン入門講座1
○洋画入門講座4
○金工講座

期日	2月25・26・27・28
講師	根岸茂行氏
定員	30人
締切	2月11日
(6日間)	

○洋画入門講座2
○デッサン入門講座1
○洋画入門講座4
○金工講座

期日	7月23日
講師	戸田健夫氏
定員	30人
締切	7月23日
(6日間)	

○日程、内容は変更する場合があります。

○申込方法
住復はがきに、希望講座名、

氏名、住所、電話番号を一講

座につき一名明記のうえ、美

術館講座は、美術館普及課、

友の会講座は美術館友の会事

務局まで。

◆転出者
佐久間芳夫

◆転入者
竹内一雄(館長)

(副館長→議会

事務局図書室長)
(文化課長→館

(主事→福利課
主事)

(主事→運動場副
主事)

(文化課長→館
長)

(主事→副主事)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

美術館協議会

職員異動

5月4日
版画講座(31)
講師増田陽一氏)

常設収蔵作品展第1回
議会

3月14日
関東地区博物館協会
議会

3月13日
福田館長着任式
役員会

3月13日
竹内館長離任式
役員会

3月13日
平成3年度第1期展
示室利用団体事前協

平成2年度末人事異動によ
り、次の職員が替りました。

◆退職者
佐久間芳夫

◆転入者
竹内一雄(館長)

(副館長→議会
事務局図書室長)
(文化課長→館
長)

(主事→福利課
主事)

(主事→運動場副
主事)

(文化課長→館
長)

(主事→副主事)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)

(主査→副主査)
(主査→副主査)